

平成 23 年度

## (臨時)名古屋大学 HPC 計算科学連携研究プロジェクト公募のお知らせ

### 緊急：臨時公募要項

今回の東日本巨大地震による震災でスーパーコンピュータ利用の研究環境に重大な支障を生じて困っている大学や研究機関の研究者を受け入れるために、平成 23 年度(臨時)名古屋大学 HPC 計算科学連携研究プロジェクト公募を以下のように新たに追加実施します。本臨時プロジェクト公募は下記に記載変更のある事項以外は通常の公募要項に準じます。

- ① 本臨時公募は 4 月 28 日まで受け付けます。
- ② 本臨時公募の審査は、通常の公募要項と同じです。
- ③ 審査結果については、審査後できるだけ速やかに、名大情報基盤センターから研究代表者あてに文書で通知します。
- ④ 研究期間は、採択時から平成 24 年 3 月 31 日までとします。

<<以下は通常の名古屋大学 HPC 計算科学連携研究プロジェクト公募です。>>

名古屋大学情報基盤センター、地球水循環研究センター、太陽地球環境研究所の3部局は、連携して名古屋大学情報基盤センターのスーパーコンピュータを利用する HPC 計算科学研究プロジェクトを新たに公募します。(趣意書は[こちら](#))

その内容は、流体・プラズマおよび計算科学における広い分野の HPC (High Performance Computing) の高度な利用技術および学術研究を推進することを目的として、スーパーコンピュータシステム(FX1 と HX600) を一定期間利用していただく HPC 計算科学連携研究プロジェクト(以下「研究プロジェクト」)の公募です。

テーマは、並列型スーパーコンピュータの要素技術の開発・評価、いろいろな分野(流体、プラズマ、気象、環境、数理科学、計算科学等)への応用とアプリケーションの総合性能評価など、HPC 計算科学全般にわたって広く募集します。プロジェクトに関わる利用負担金は徴収いたしません。

### 1. 応募資格

プロジェクトの研究代表者及び分担者は名古屋大学情報基盤センター利用資格(以下「利用資格」)を有すること。ただし、研究代表者は利用資格 1-3 に該当する者であることを必要とします。

また、名古屋大学情報基盤センター、地球水循環研究センター、太陽地球環境研究所が連携して推進するプロジェクトであるために、研究分担者にはこれら名古屋大学3部局の2部局以上に所属する研究者を含むことを条件とします。

センター利用資格・利用のための手続きは以下を参照してください。

<http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/riyou/sinsei.htm>

また、研究代表者としての申請課題数は 1 件です。

### 2. 対象システム

以下の計算機システムを研究対象とします。各システムの仕様と利用可能なプログラム言

語・数値計算ライブラリ, ソフトウェアの詳細は

<http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/center/apl.htm> を参照してください。

略称システム名・1 ノードあたりの構成・総ノード数

FX Fujitsu FX-1        4 コア, メモリ 32GB     768 ノード

HX Fujitsu HX-600    16 コア, メモリ 64GB    160 ノード

- ① 1課題の最大計算可能量は FX1 の 256 コア利用で約 40 万コア時間です。
- ② 期間: 平成 23 年( 2011 年) 4 月下旬~平成 24 年( 2012 年)の年度末まで。
- ③ 募集課題: HPC 計算科学全般

### 3. 応募申込(平成 23 年 2 月 28 日締切)

申請書に必要事項を記入の上, 「〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学情報連携統括本部情報推進部情報推進課総務掛・共同利用担当」宛に提出してください。同等の形式であれば PDF ファイルでも受け付けます。( [申請書はこちら: word 形式](#) )

( Tel: 052-789-4372, Fax: 052-789-4385, Mail: [kyodo@itc.nagoya-u.ac.jp](mailto:kyodo@itc.nagoya-u.ac.jp) )

なお, 採択課題件数は約 10 課題以内の予定です。

### 4. 成果報告

- ① 研究成果を論文等で公表する際は, 謝辞などに研究プロジェクトによる成果である旨を明記してください。別刷等の提出もお願いします。また, センタースタッフの寄与が大きい場合には, 共著者への追加をお願いする場合があります。
- ② 2012 年 4 月末日までに報告書 (A4 判 2 枚程度) を提出していただきます。提出された報告書は情報基盤センターで公開します。
- ③ 名古屋大学3部局 主催のフォーラム( 2012 年 4 月頃開催予定)にて成果発表をお願いします。

### 5. 審査方法

審査委員会における審査後, 結果を連絡いたします。

### 6. 備考

基本的な利用法を含め, 利用に関する相談は随時受け付けます。

( <http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/service/it.html> )

研究プロジェクトによって得られた知的財産の取り扱いについては, 別途協議させていただきます。